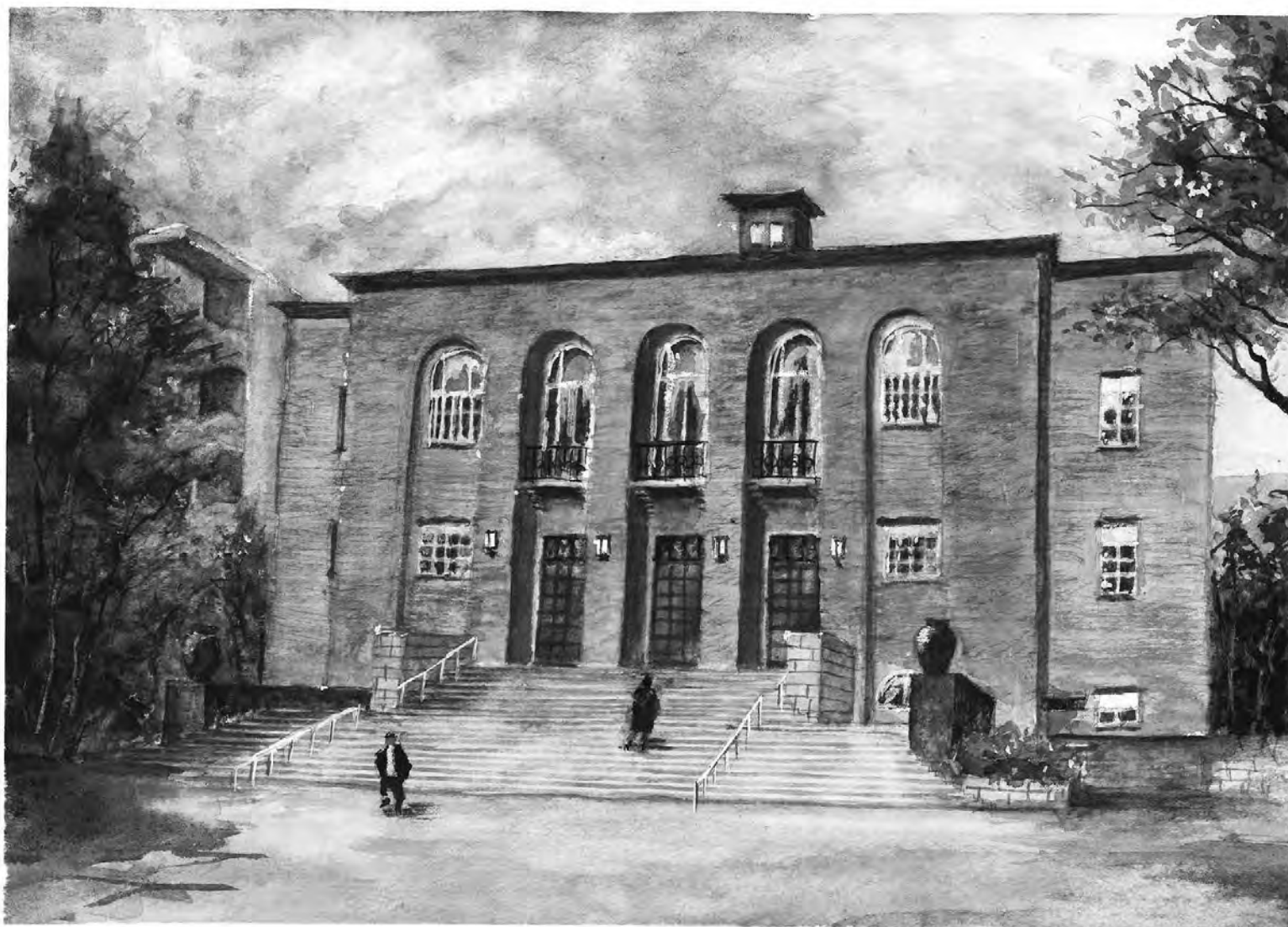


建築士 おおた

春季号

2025 NO 134



公益社団法人 大分県建築士会

CONTENTS

01 公益事業の成果	別府支部	秋吉 俊亮
	佐賀関支部	渡邊 豊基
	佐伯支部	河野 功寛
	宇佐支部	梶田 康一
06 2024年秋の園遊会に参加して	大分支部	芳山 憲祐
08 第66回建築士会全国大会鹿児島大会に参加して	大分支部	安東 歩
09 第33回全国女性建築士連絡協議会に参加して	宇佐支部	佐々木真江
10 第9回おおいた建築セミナーinくすこに参加して	中津支部	畑中 聡子
	中津支部	村上千由紀
12 九州まちづくり塾in木城に参加して	大分支部	藤井 茂雄
14 第9回おおいた建築セミナーinくすこ 開催報告	玖珠支部	後藤 聖和
16 大分県建築物グリーン化事業報告	グリーン化推進委員会	桑田 一敏
18 弘化4年(1847)信州(長野県)善光寺地震(2)-災害から学ぶこと-	廣瀬資料館	園田 大
20 令和6年度 新春支部対抗ボウリング大会 開催報告	中津支部	是本 昭善
21 インフォメーション(支部便り)	臼杵支部	足立 洋平
	佐伯支部	富松 誠
	津久見支部	濱野 一明
25 我が街の建築士紹介 県南	佐伯支部	御手洗芳夫
	佐伯支部	吉川 祥平
	津久見支部	岡部 来哲
	津久見支部	福島 桃子
26 マイワーク 県北	中津支部	佐保井健悟
	高田支部	清末 幸生
	宇佐支部	平野 雅也
	日田支部	貞清 智司
29 マイベストブック 県央	大分支部	粉 航平
	大分支部	佐保 望
	別府支部	中原 健
	別府支部	重田 凌汰
31 近況トピックス	津久見支部	高瀬 幸伸
	大分支部	佐藤 誠
34 マーボアの旅先日記	顧問	井上 正文
37 事務局だより	大分県建築士会事務局	



■ 表紙説明 ■

表紙のイラスト

別府公会堂

作者：大分支部 板井 利世

令和6年度 公益事業の成果

別府支部

別府支部 秋 吉 俊 亮

【折り紙建築教室】

日 時 令和7年2月8日（土）

午前 10:00～15:00

場 所 日出町 二の丸館（yagura）

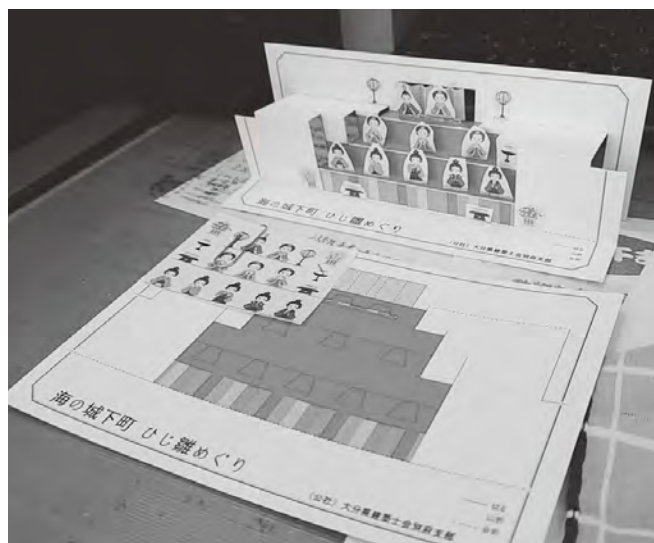
毎年恒例として行ってきた折り紙建築のワークショップですが、出展予定だった「ひじ産業文化まつり」が、衆議院の解散に伴う総選挙の投開票日と重なり急遽中止に…途方に暮れていたところ、2月に雛祭りにまつわるイベントがあるとのことで、こちらでワークショップを開催させていただくこととなりました。

「海の城下町 ひじ雛めぐり」は、日出町の14か所に雛飾りを展示し、城下町を巡りながら、美しい雛飾りと美味しいグルメを楽しむ祭りで、そのオープニングイベント「ひなまるしえ」が行われる会場の一角をお借りしました。



そのようなことで今回は雛祭りのイベントに参加することとなったので、雛飾り折り紙を制作し、それを掴みに客寄せし、併せて建築の折り紙を楽しんでもらうというあざとい作戦としました。

イベントが始まると、会場は美味しいグルメのブースにお客さんたちが殺到し、売り切れが続出。折り紙建築の場所は少しひっそりとした場所でしたので、最初は気付かれていませんでしたが、イベントのスタッフさん達が誘導してくれ徐々に人が集まってきました。



このひな壇折り紙は、見た目にして実はなかなかの難易度で、カットと折り目を事前につけていたのですが、それでも30分くらいの格闘を要し、建築折り紙を楽しむ余裕を与えることなく、ひな壇折り紙だけで満足して帰っていくという流れでした。



今回結果的には、折り紙の台紙を80部用意していたのですが、ほとんど無くなりました。一緒に折った方もいれば、家で作りたいという方、出来上がったものが欲しいという方など様々ですが、幅広い年代の方々に喜んでもらい、建築士会の活動を知ってもらえました。次回への改善点としては、掴みはもう少し難易度を下げたものにするという点です…。

令和6年度 公益事業の成果

佐賀 関 支 部

佐賀関支部 渡 邊 豊 基

当支部では、地域住民とのまちづくり活動の協働を推進しており、本年度から馬場地区のまちづくり活動を支援することとしました。

馬場地区は、別府湾に面し新産都の開発を免れた自然海岸の残る地域です。

20年ほど前には、ウミガメの産卵もあり、地域をあげて自然環境の保護を推進しています。

そのような中、馬場地区を包含する本神崎まちづくり協議会では、地域の更なるにぎわいの創出を図ることとして、作業部会を立ち上げ、その部会長として小生が任用されました。

部会では、それぞれの地域の課題や宝物を「まち歩き」や「ワークショップ」にて掘り起こし、それを賑わいのエッセンスとして活用し、後世に残せるまちづくりを推進することとして協議しました。

馬場地区としては、これまで自然海岸を主体にウミガメの還ってくる環境を維持してきましたが、内陸部に視点を向けると、動植物の生育には必要不可欠な自然環境を備えた「ダイオンジ沼」を発見しこれに着眼点を置きました。

が集まり、賑わいの創出が出来る環境を創造することを計画しました。



沼に掛る八つ橋



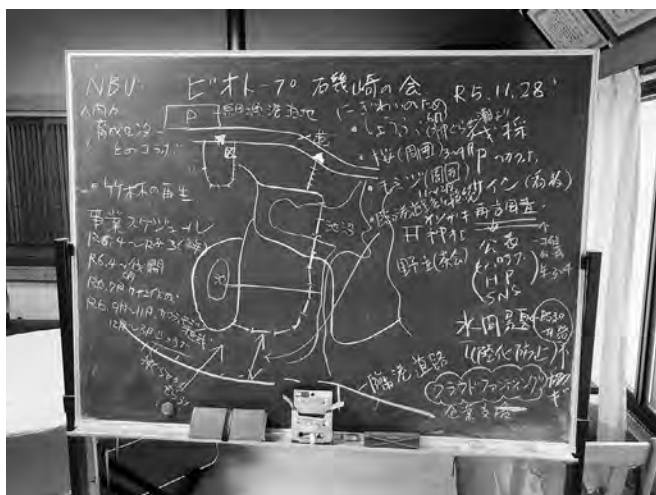
ダイオンジ沼全景

ダイオンジ沼では、過去にNPO法人おおいた環境保全フォーラムが「ビオトープ」を構築し、併せて散策用の遊歩道、八つ橋、案内板等を整備しておりますが、最近では手つかずの状態では草木は伸び放題。

当支部と馬場地区としては、これを再生し、ウミガメの産卵地と密接に関係する内陸部の自然環境を保全することと、併せて、新たな景勝地として市民



NPOの設置した案内板



ワークショップ時の事業構想図



ワークショップの様子

事業は3か年とし、その概要としては、
1年目に、伐採、ショウブ、サクラ、モミジの植栽。

2年目に、伐採、サクラ、モミジの植栽。テーブル・ベンチの製作と設置。

3年目に、伐採、サクラ、モミジの植栽。案内板の製作と設置。完成イベントの開催。(マルシェ等) SNS等による周知活動。

さて、1年目に当たる今年度の活動としては、ショウブやサクラ、モミジの調達から開始です。ショウブは地元の方から10株ほど、また行政から50株提供いただきました。さらにサクラとモミジも行政から提供いただくこととしています。

植栽前には、9月に事前伐採を約300㎡実施し根だらいを施しました。

そして11月9日に、地元民やNBU学生、支部会員の総勢20人ほどで、ショウブの植栽と追加伐採をしております。

植栽終了後は、NBUの学生と馬場海岸にて、松くい虫被害を発生させないように松の枯れ木を搬出しました。



馬場自然海岸とダイオンジ沼の再生によって、いつかはウミガメが還ってくることや、馬場地区とダイオンジ沼が大分市の新しい景勝地として「にぎわい」が創成されることを願っております。

令和6年度 公益事業の成果

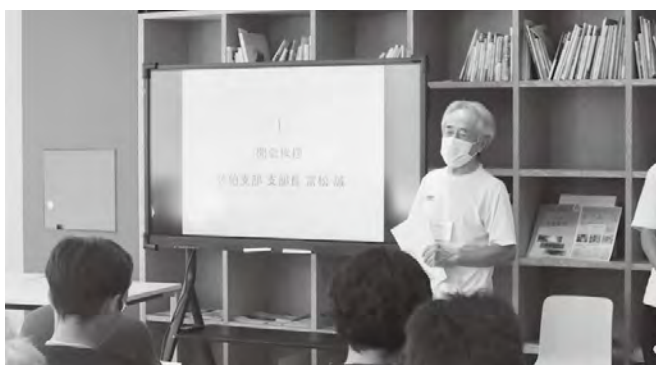
佐伯支部

トライアングル'94 2024in佐伯の開催

佐伯支部 青年部長 河野 功 寛

宮崎県延岡支部、高知県幡多支部、そして大分県佐伯支部の3支部の青年部にて、会員の育成・技術の向上・社会への貢献・相互会員の交流と親睦を目的として、1994年に開催がスタートされたトライアングル'94。

ちょうど発足から30周年を迎える今回、佐伯市にて3支部が総勢28名集まり、令和6年9月7日にトライアングル'94 2024in佐伯を開催しました。



発起メンバーの1人である佐伯支部の井上一則さんからの挨拶をいただき、会をスタート。

前半は、都市景観大賞やグッドデザイン賞の評価もいただき佐伯のシンボル施設となり、お子さんから年配の方まで世代を問わず多くの市民に利用・活用されている複合文化施設「さいき城山桜ホール」と、江戸時代を中心に、中世（平安時代末期～戦国時代）から近代初頭（西南戦争）までの佐伯の歴史や貴重な収蔵品に触れることのできる「佐伯市歴史資料館」を施設見学。建築士の集団ならではの視点・視線で施設を回っている姿が異様で印象的でした。案内をしていただいた担当の方も「視点が面白いですね。あ、そこはちょっと…」とコメントをいただいております。



類似施設であっても地域ごとでの特色や利用者層、立地などで施設の設えや在り方が変化するため、このような交流は建築士にとっての資質向上に繋がると感じました。

後半の懇親会までの空き時間に、続日本100名城や国の指定史跡として認定されている「佐伯城跡」（15分程度で頂上到達）をお勧めしたのですが、当時の天候が良すぎた関係もあり、次回開催のおたのしみにと温存されてしまいました。



後半は、交流懇親会ということで、飲み物を片手に腰を下ろしての交流を行いました。一次会以降はそれぞれ思い思いに佐伯の夜を満喫していただきました。会の中で高知伝統のお酒の飲み方を教えてもらいましたが、若輩者の私には少々早かったです。

昼も夜も盛況に30周年のトライアングル'94を実施できたことを嬉しく思います。30年に渡り活動が続けて来られた諸先輩方、今回ご参加・ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



令和6年度 公益事業の成果

宇佐支部

宇佐支部 梶田 康一

宇佐支部では、地域に残る戦争遺構の保存整備、建物等の位置関係を整理することを目的として、平成30年度から宇佐海軍航空隊跡の建物等の調査を行っています。

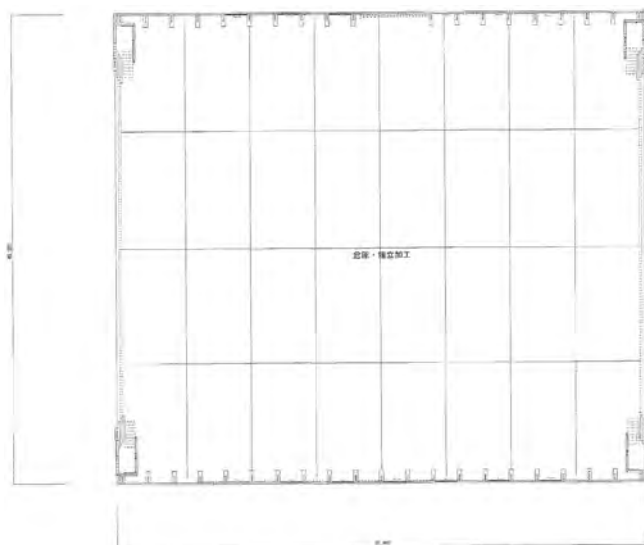
令和6年度は調査範囲を広げ、施設北側の建物と引込み線の調査を行いました。

調査では、図面、写真及び当時の関係者からの証言により、2棟の建物の配置、形状等の情報を検証しました。

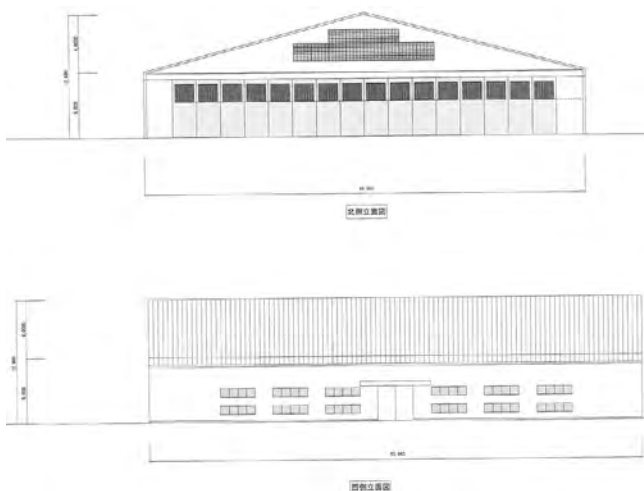
検証の結果、新たに柳ヶ浦駅からの引込み線（鉄道）と大規模建物2棟、その周りの付属建物を確認することができました。

なお、調査を行った2棟については、多くの方に見ていただけるように、復元模型を制作しています。

宇佐支部では、当時の状況確認、地域社会の平和教育のため、今後も調査を継続していきます。



平面図



立面図



復元イメージ鳥瞰図



当時の航空写真



復元模型

2024年 秋の園遊会に参加して

大分支部 芳 山 憲 祐

令和6年9月6日突然電話が鳴って、「秋の園遊会のご招待が届きましたので、出欠の返事を至急に回答ください。時間ありませんので後ほどメールします。」

大分県庁から建築士会を通して連絡を受けました。平成31年に「旭日小受賞」を受けて3年（コロナもあって）を経ての案内で驚きと私が、本当なのと疑ったところでした。

2～3時間後にメールで書類が届き本当の話だと改めて胸がドキドキとなりました。

心を落ち着けて、書類を端から端まで注意深く読み必要な箇所に記載して、何度も間違っていないか読み返して返信しました。

回答の内容によっては取り消しもあり得ると思っていました。

何日たったであろうか、突然大分県庁から電話で招待状を持参したいので事務所にいる日時を教えてくださいとの問い合わせでした。

10月1日になり事務所に3名の方がお越しになり丁寧な挨拶と「宮内庁からの招待状」を戴きました。

同封されていたのは「番号付の園遊会参入券、赤坂御苑園遊会についての詳細な説明文と会場周辺の地図・赤坂御苑案内地図」でした。



園遊会の当日（令和6年10月30日）、青山一丁目の地下鉄駅が私達が指定された入場の西門に一番近いので、ホテル近くの新宿駅から電車に乗って行きました。

地下鉄の新宿駅から乗ると4つ目の駅から同じような正装した夫婦が乗ってきました。結婚式か、も

しや同じようにご招待を受けた人だろうかと思ふことを考えている間に、次は青山一丁目とのアナウンスがありました。

下車の準備をしていると、その夫婦も下車しました。この人について行けば良いかもと後を追ってエスカレーターと階段を上っていくと、大きな通りに出たがそのうちに夫婦を見失ってしまいました。

赤坂御苑のあたりは長い車の列と大勢の正装した人の列ができ、その先に立派な門が見え警護の人が沢山いる「西門」の入口のようであり、「西門」前に着き、招待状を提示して入場すると、今度は宮内庁の職員らしき方が再度招待状を確認し、準備していた大型バスに案内されました。

バスは森の中を曲がり、坂道を上下して結構起伏のある道をゆっくりと進み10分ほど乗っていました。

下車して受付のテントの前に進み、一人一人名札を首から下げて自由散策会場へと進みました。

会場にはジンギスカン料理、寿司、サンドイッチ、その他の料理や飲み物などが準備されていました。

私達は笹に包まれた「鯛のちまき有職・鰯のちまき有職」と巻き寿司（細い小さな鉄火巻き）、サンドイッチ（3cm角ほどの1口サイズの）を受け取り立食テーブルに移動し、食して全てが珍味でいずれもこれまで味わったことのない食感でとても美味しく戴きました。



。そ集



○
そ
集

□ 7



見る

とメ

1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583, 2584, 2585, 2586, 2587, 2588, 2589, 2590, 2591, 2592, 2593, 2594, 2595, 2596, 2597, 2598, 2599, 2600, 2601, 2602, 2603, 2604, 2605, 2606, 2607, 2608, 2609, 2610, 2611, 2612, 2613, 2614, 2615, 2616, 2617, 2618, 2619, 2620, 2621, 2622, 2623, 2624, 2625, 2626, 2627, 2628, 2629, 2630, 2631, 2632, 2633, 2634, 2635, 2636, 2637, 2638, 2639, 2640, 2641, 2642, 2643, 2644, 2645, 2646, 2647, 2648, 2649, 2650, 2651, 2652, 2653, 2654, 2655, 2656, 2657, 2658, 2659, 2660, 2661, 2662, 2663, 2664, 2665, 2666, 2667, 2668, 2669, 2670, 2671, 2672, 2673, 2674, 2675, 2676, 2677, 2678, 26

遠く



h

り、



第66回建築士会全国大会鹿児島大会に参加して

大分支部 安 東 歩

第66回建築士会全国大会 鹿児島大会に参加しました。初めての全国大会参加です。鹿児島大会の案内は、九州ブロック佐賀大会の際の鹿児島県の方々の元気な周知が印象的で、どんな大会になるのか楽しみにしていました。

当日は建築士会の先輩方と乗り合わせ、車2台でまだ日が明けぬ前から出発しました。

お昼前には市内に到着し、最初に向かったのは「天文館むじゃき」。しろくまが食べられるお店です。ランチも兼ねるつもりでしたが、手短に済むしろくまだけを頼んで早々に店を後にしました。慌てて向かった先はフェリーターミナル。桜島へ渡ります。生憎の雨模様でしたが、名所を巡りながら桜島の歴史を学びました。



夕方からは岩手建築士会の方々との懇親会。岩手と大分の類似点について説明があり、岩手にも行ってみたいとなりました。岩手建築士会からお土産としてお酒もいただき、前日からすでに飲み過ぎの予感がありました。

いよいよ大会当日。まちづくりセッションに参加し、「麓」という鹿児島独自のまちの単位について学びました。お昼からは式典と記念フォーラムに参加予定でしたが、急遽建築見学に変更。

まずは徒歩で向かえる「鹿児島カテドラルザビエル記念堂」へ。何度見ても圧倒される内部空間です。小聖堂には初めて入りましたが、素朴で落ち着いた印象の空間でした。次に、路面電車で揺られて向かったのは「ダンケン東開Holz店」。木の建築賞を受賞した建物です。パンやお菓子を買って、丸い中庭でひと休憩。雨の風情も素晴らしい建物でした。



夜は大交流会会場の「かんまちあ」へ。会場に用意された名物やお酒を堪能しつつ、大分のテーブルでは、お久しぶりの先輩方や初めてお会いする方々とも交流でき、楽しいひとときになりました。焼酎も大盤振る舞い！



会場付近や街歩きでは、参加者に配られた札を下げた建築士にたくさん出会いました。

ここに全国の建築士が大集合しているのだと思うと、感慨深く、その人数に圧倒されました。改めてその規模の大きさに驚き、運営側の苦勞に感謝の気持ちが湧きました。

次の日も建物見学へ。安藤忠雄氏の「かもいけみらいの森」、足を伸ばして「知覧特攻平和会館」と「知覧伝統的建造物群保存地区」を巡りました。伝建地区では、昨日のセッションで聞いた内容が目の前に広がっていました。敵からの視線を遮るようにクランクさせた道があり、庭は奥の山を借景にして造られていました。また、まきの木を石垣のすぐそばに植えると、石垣を突き破るので、緩衝材としてお茶の木を植えている、など暮らしの知恵を感じました。余談ですが、大河ドラマ「せごどん」を見返していたタイミングだったので、ロケ地と聞いて心が躍りました。



帰る頃には、桜島にかかっていた雲も晴れ、全景を眺めることができました。

右も左もわからず先輩に誘導されるままの参加でしたが、皆さんでわいわいととても楽しい旅行となりました。次回も楽しみです。

令和6年度 第33回全国女性建築士連絡協議会に参加して

宇佐支部 佐々木 真 江

令和6年7月14日・15日に東京の日本建築学会建築会館で行われた協議会に初めて参加させていただきました。

1日目は「令和6年度能登半島地震 被災地からの報告」として石川県建築士会・富山県建築士会・福井県建築士会から被災地報告、岡山県建築士会の活動報告「繋がりを持つこと～災害後6年目の現在地～」、「一人でも多くの人に使いやすいパブリックトイレを目指して」と「インクルーシブな社会を目指して～トイレから誰もが使いやすい建築を考える～」の2つの基調講演がありました。



途中からの参加でしたが、夜のエキスカレーションでは、他市・他県の建築士の方々と交流できてとても充実した時間でした。



2日目は、「来年は山形県開催！「魅力ある和の空間ガイドブック」part6」「インテリアと暮らしの視点から考える室内防災対策「JOL防災」」「民家の土壁補修・保存の取り組み」「変えていく！建築士会～バージョンアップへの道」「すまい学習をサポートします あれから」「女性部会情報誌「フフ」と女性部会の今後について」「未来につなぐ環境建築への取り組み」の7つの分科会が行われました。

私は、「未来につなぐ環境建築への取り組み～地方の建築技術者が出来ること～」に参加しました。この分科会は、高橋由美さん司会で、前半は沖縄県

建築士会の松田まり子さんによる「沖縄型気候風土適応住宅の特性を考える」、後半は大分県建築士会板場奈美さんによる「大分県建築物グリーン化促進事業の取り組みについて」の活動報告がありました。地域の特性を生かした環境建築の取り組みについて改めて考えさせられた分科会でした。



被災地の現状や、他県建築士会の活動等を知ることができたので参加させていただき良かったと思います。

次回第34回は令和7年7月19日(土)・20日(日)に山形県で開催されます。

今回の協議会参加にあわせて、宇佐支部のメンバーと一緒に「牧野記念庭園 記念館」「ちひろ美術館」



「東京メトロ銀座線渋谷駅」

「とらや 赤坂店」と内藤廣さん設計の4施設見学もでき、充実した東京2日間でした。



〔九州ブロック〕

建築セミナー in くすここに参加して

中津支部 畑 中 聡 子・村 上 千由紀

11月10日の「おおいた建築セミナー in くすこ」絶マチ！Re：バイバル に参加してきました。

当日、花林のかいぞくかりんとうを買いに行きました。

そこで、ソフトクリームを食べました。

店主がくせになるといっていましたが、本当に癖になりました。とても美味しかったです。



会場に入り、講師：時松和弘氏（農家民宿「おわて」）による、「絶滅危惧住居の守り人が語る。日本人の生き方について」の講演を聞きました。

安永6年（1777年）に建てられ、築200年をゆうに超える古民家で農家民宿を営んでいます。（現在 訳あって休業中）



「部屋はすべて引戸で、プライベートもなにもあ

りゃせん」と笑いをまじえながら、方言で語られていました。

「今の人は、わざわざキャンプに行くが、自分は毎日がキャンプだ」と言っていました。語りを楽しく聞きました。

分科会では「絶マチ巡り」「絶峰このえを歩く」コースに行きました。





↑これは草こづみというクラです。

草こづみとは、冬の間の牛の餌、しきクラとして使うために稲を刈って、積み上げたものです。タデ原湿原では昔から作られてきました。

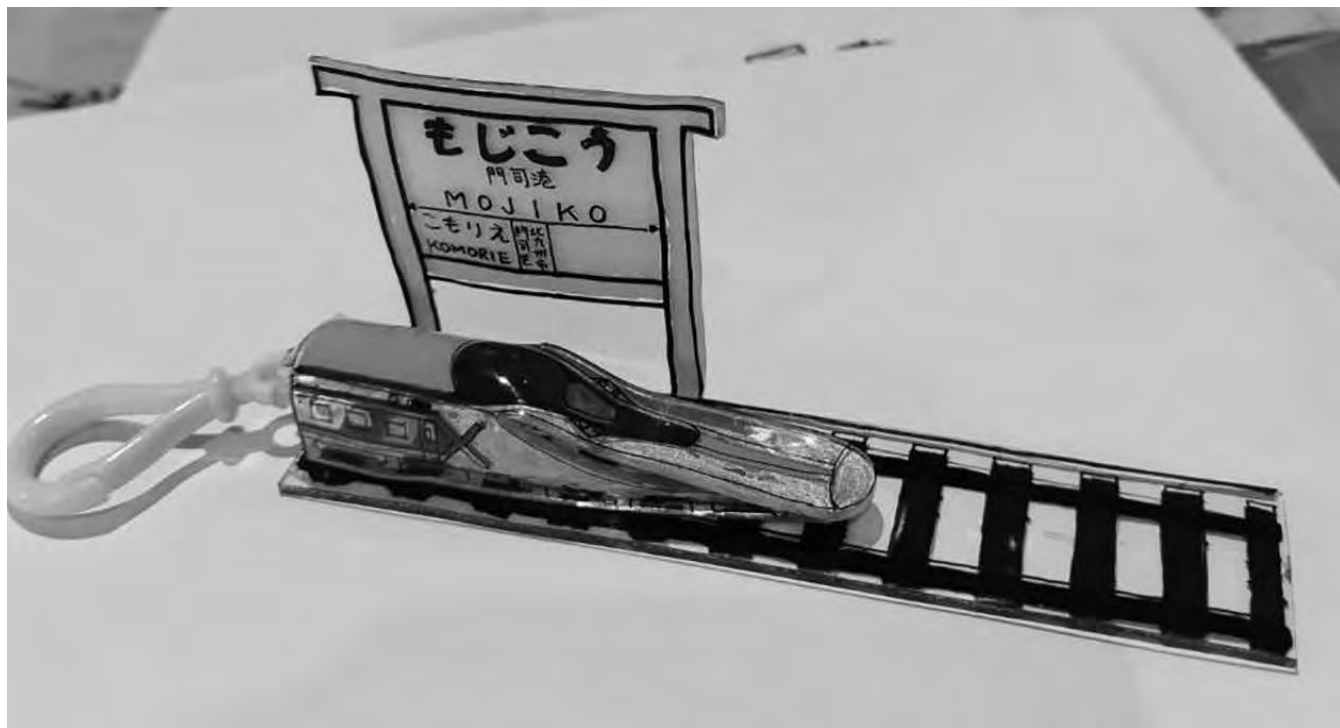
次は、八鹿酒造に行きました。

あまざけと人気のヨーグルトリキュールを買いました。

大きな杉玉が飾られていました。もうすぐ新しいものになるそうです。



↓「またとない絶好の機会！旧豊後森機関庫内部特別見学コース」中津支部の参加者の作品です。



〔九州ブロック〕

九州まちづくり塾in木城に参加して

大支部 藤井茂雄

まちづくり塾とは何ぞや？

これまで参加したことが無かった藤井ですが、今回思い切って参加してみた感想を綴ってみて、今回のまちづくり塾がどんなものだったかが伝われば幸いです。

まず今回開催された場所が宮崎県木城町^{きじょうちょう}という町で、そこに行くまで全く聞いたことの無かった町です。

町のプロフィール資料でも「鉄道ない国道ない、ないないの町で、僕も生きる」と赤ちゃんモデルと一緒に写真があるくらいです。

それでも平成の大合併で飲み込まれることなく現在も一つの町として残っているからには何か特別なものがあるのだろうと、少しうがった見方をしながら説明に耳を傾けました。

まず木城町という町の人口は令和6年9月1日時点で4,523人。大分でも平成の大合併に飲み込まれなかった日出町と比べてみたい。日出町の人口は27,190人。次は面積で比較、木城町164km²、日出町73.26km²。(Wikipediaから引用)

上記の比較から木城町はより立派な田舎であることがわかります。現地に行ってみるとさらに田舎であることがわかります。田舎の方では地代の安さから大手企業の工場などを誘致することが多いと思われそうですが、「国道ない、鉄道ない」の木城町にはそれらの製造業が無いことが人口に表れているのだと思われま

す。ではなぜ木城町は独立して頑張っているのか？各種行政の施策もあると思いますが、その中でも町長の人柄や木城町に対する思いが強いのではと私個人は感じました。

行政のやっていることとしては、移住定住の支援やふるさと納税、タクシーやバスなどの公共交通機関の助成など言葉自体はだれでも思いつくことです。それらを実行に移し、成果を出すという点が、町長が町民や行政職員から信頼されている証なのだと思います。

最初に集まった総合交流センターリバリスで説明を聞きながらそんな感想を抱きました。今の段階では首長がリーダーシップを発揮しているパターンだ

など。

それから木城町に今ある文化施設、名所などを見ながら、これらをこれからの木城町でどう生かしていくかを考えるための現地視察に回りました。

3班に分かれて各所に回ったのですが、私が2班で回った施設は、「石井十次 友愛社関連施設」「此木神社」「高城址」になります。主に歴史名所を巡りました。

私の中で印象的だったのは石井～～関連施設で古い木造建物で3階建ての方舟館と軒の深い静養館でした。



方舟館



静養館

両建物共元は岡山県で建てられ、明治、大正時代に現在の場所へ移築されたようです。木造西洋建築としては長崎グラバー邸と大差ないようです。

此木神社は楠の大木が出迎えてくれ、参道を進むと大量の銀杏の絨毯が敷かれていました。社殿の中に入ると格子天井の各格子の中にいろいろな絵が描かれており、一見の価値があります。

高城址は展望台もあり、そこから木城町の街並みを眺めることができました。芝生もきれいに整備されていて、時期によってはBBQや散策も楽しめるいい場所だという感想でした。後の意見交換会で知ったのですが、そこから見える場所は、豊後大友軍と薩摩島津軍の合戦場所らしく、歴史好きにたまらない場所のようです。



尾鈴山蒸留所

以上の施設を見て回った後に石河内活性化センター（旧石河内小学校）に移動し、ワークショップ、交流・意見交換会を行いました。



意見交換会

ワークショップでは様々な意見がありましたが、ほとんどの班の総意が「木城町はないないではなく、あるある」になっていました。普段の生活とは違う視点で見るからこそ見えるものもあるのだろと思いますが、活かそうと思えば活かせるものがあるのではないかと自分たちの地域でも視点を変えて見てみたらいいものはあるのではないかとそういったことを学ぶことができたイベントだったと思います。

ホテルや旅館以外で久しぶりに宿泊しましたが、深夜まで鳴るギター、歌声、寝息、いびきのオーケストラに包まれた夜を過ごしました。

まちづくり委員会の光井智さんがご自身のYoutubeチャンネルに参加報告動画をアップロードして頂いています。是非ご覧ください。



第9回おおいた建築セミナーinくすここ ～絶マチ!Re:バイバル～開催報告

実行委員長 後 藤 聖 和 (玖珠支部青年部長)

令和6年11月9日(土)にホテルメサ・ビュート(玖珠町)をメイン会場に開催された「第9回おおいた建築セミナーinくすここ」に参加していただいた皆様、誠にありがとうございました。当日はセミナー91名、懇親会61名と多くの方にご参加いただきましたこと、重ねてお礼申し上げます。

今回のセミナーのキーワードは“絶”。この“絶”はどちらかと言えば「たつ」「とどえる」などの負のイメージを持たれる方が多いかと思います。事実開催地である玖珠・九重町は消滅可能性自治体に数えられ、今まさに“絶滅”の危機に瀕している“絶マチ”であるといえますが、“絶”には「すぐれる」や「はなはだ」といった良い意味でつかわれることも多く、両町は絶滅させるには実にもったいない!いいところが沢山ある“絶マチ”であり、そこをもっと知って欲しい!!と、“絶滅”と“絶峰”“絶賛”“絶好”“超絶”をキーワードに講演会と4つの分科会を企画。そしてこのセミナーをきっかけに、さらに支部活動を活性化させ、私たち建築士の手で地域再興(リバイバル)をしていこうという思いで“絶マチ!Re:バイバル”というテーマに決定しました。

セミナー前半の基調講演は九重町在住の時松和弘さん(民宿蕨原おわて主人)をお迎えし「絶滅危惧住居の守り人が語る。日本人の生き方について」という演題のもと、築約250年(西暦1777年築)の住宅での暮らしや、生活の知恵、さらには現代の社会に対する問題提起等をいただきました。強烈な玖珠弁と襖生活で培った相手の気配を感じ思いやるやわらかい物腰で、決して押しつけがましくはないけれど、何か心に響く一言ひとことに会場は終始笑顔に包まれていました。



講演の中で、「最近鹿が増えた原因のひとつがアスファルト舗装に撒いた塩カル(塩)を舐めることにより冬を越せるようになったためだ。」というお話がありました。この事は直接建築とは関係のないことのように思えますが、今自分たちがしていることがのちの社会で多大な影響、不都合を生み出している可能性がある。恐らくアスファルトを舗装した人は鳥獣被害拡大に繋がっているなんてことは考えてもいなかっただろう。この事が良いとか悪いとかではなく、何をするときも今自分がしたこと未来がどうなるのか、想像力を働かせ考え続けなければならないと投げかけられた気がしました。

セミナー後半の分科会は①絶峰の九重連山と絶品の日本酒、②バーナード・リーチが絶賛したキジ車作り、③絶好の機会!旧豊後森機関庫内部特別見学、④超絶ディープな玖珠町の非公開文化財巡りの4つに分かれ、それぞれのコースで普段味わう事の出来ない玖珠町・九重町をご堪能いただけたものと確信しています。



そして夜は、地元八鹿酒造の祝い唄と鏡開きで懇親会が開幕。玖珠といえば“絶品”のお米ということ



ことで、支部対抗新米おにぎり握り選手権を慣行。開催日にちなんでおにぎりを握ってもらい近い人から各支部持参



の豪華おみやげをゲット！！というイベントを準備させていただきました。老若男女問わずみなさんいい笑顔でおにぎりを

握っていらっしゃいました。

さて、ここからは運営側としてのお話を少し。

私が支部の青年部長を仰せつかって間もなく、青年女性委員会で次の開催地をどこにするかという話になり「次は県北ブロックの順番でその中からまだ開催していないところが望ましい。玖珠支部で開催はどうか？」という議論になりました。私事ではございますが、本会に入会して建築セミナーにすら参加したことがなく、また会員21名程の極少支部のため地元での開催を不安に感じ、「結論は支部に持ち帰らせてください。」と、半ば（いや…9割方？）断ることを前提に支部役員に諮ったところ、意外にも全員乗り気で玖珠支部での開催が決定してしまいました。しかも、支部長から「なんかあったら助けちゃるけん若者で頑張れ」とのお達しがあり、支部の若者全8名で実行委員会を立ち上げ準備をすることとなりました。

セミナー開催にあたり大切にすることが2点あります。まず1点目は一人でも多くの方に参加していただくため、案内をできるだけ早く届けること。そのために5月からほぼ2週間に1回のペースで準備委員会を実施し、講演会講師宅への視察等も重ね内容等を決定し、7月に案内を出すことができ、先述のとおり多くの方にご参加をいただくことができました。

そして2点目は、極少支部だとは言え、自分たちだけの手でやり遂げること。県北支部の皆様を中心に温かい声をいただきましたが、他の支部の会員の皆様にはスタッフではなく、あくまで参加者として玖珠町・九重町を思う存分楽しんでいただきたいという思いから、当日はほぼ支部会員総出で運営し、他支部の力を借りずに開催することが出来ました。

今回のセミナーを通じて改めて感じたことは、玖珠支部は人数こそ少ないものの8人の若者が自由に活動でき、残りの先輩方は口を出さずに若者の意見を尊重し、背中をそっと押してくれ、足りない時には力を注いでくれる、実に風通しの良い支部だなということです。

今セミナーの開催により建築士の手で地域を再興したいと考えたことは身の丈に合わない大それたことだったかもしれませんが、今後少しでも地域の役に立てるよう活動を行うことを心に誓い報告とさせていただきます。

フォトギャラリー



〔九州ブロック〕

大分県建築物グリーン化事業報告

建築物グリーン化小委員会メンバー 桑 田 一 敏

令和4年度に県からの3か年受託事業としてスタートした大分県建築物グリーン化事業を、この3月で終えたところです。2050年カーボンニュートラルを目標に、建築士の技術力の向上や、一般の人たちに建物の断熱性などについて関心を持ってもらうための数々の事業やイベントをバージョンアップさせながら実施してきました。

こうした中でも地球は待つてはくれず、猛暑が酷暑となりさらに「災害級の暑さ」とまで言われるようになっていきます。大雨特別警報という「上位」の警報も新たに生まれました。最近、地球はあらゆる手法で我々に警告を与え続けています。真夏のイベントが悉く秋のイベントに変わるなど、気候変動が確実に市民生活に影響を及ぼし、これまで温暖化に懐疑的だった人も（一部の国のリーダーを除き）さすがに認識を改めたのではないかと思います。

建築士が各地で街並み保存や景観の向上に取り組んだ成果が全国に波及し、次世代に「遺産」として引き継がれていくという大きな成果を導き出したように、防災や被災地の復旧復興支援、そしてわれわ

れの生活水準向上と引き換えにもたらされた気候変動という終わりの見えない大きな代償に対して立ち向かっていかなくてはなりません。地域の建築士や大工などの職人が当然のごとく取り組んできた木造建築がCO2の吸収に大きく貢献することが謳われていますが、その木造の建物を長く使うことも排出量の削減には重要なことです。省エネ法の改正により新築住宅の性能は今後も確実に向上していくと思われますが、きちんと手入れすれば100年以上十分使い続けられる木造住宅のストックは決して高い断熱性能を備えているわけではないため、ストックの断熱性の向上が今後の大きなテーマになっていくことでしょう。

この危機的な状況に対して、建築士はそれらに受動的に対応している場合ではありません。ひとつひとつの仕事に対して機会を逃さず、建物所有者や発注者に対して省エネ性能の向上の必要性を訴え続ける必要があります。そして本事業の「県民向けフォーラム」で子供たちに木造住宅の役割や省エネの重要性について説明したように、長期的スパンで



県民向けフォーラム「住まいエコ-Labo」（中津市にて）

の啓発活動もつづけていかなければなりません。

一方で、建築技術者はあくまでもユーザー側であり、材料や機器を選択することや組み合わせることによって省エネ性能を向上させようとしているだけです。そこで大切なことは、技術革新は我々の能力の到達点ではなく、われわれが技術革新を起こすためのニーズを作り出しそれを大きな流れにすることです。連日新たな技術として再エネによる発電、それを安定化させる蓄電池、新たなエネルギー源として期待される水素の製造技術などの情報が飛び交っています。これら技術のブレークスルーが様々な分野で起こるとカーボンニュートラルの世界が見えてきます。省エネ化はあくまでもCO₂排出量の「低減」であり、再エネや革新的な技術の利用なくしては真に「実質ゼロ」や「脱炭素」とならないことを意識し、エネルギー問題や技術革新の情報にも目を向け、「新た

な投資に対してそのコスト何年で回収できるか」ではなく、建築分野を超えて現状に向き合い、将来を見据えた「必要性」を訴えつづけ、次の世代に安定した環境に回復させる道筋をつけて引き継いでいくことが重要です。

グリーン化事業の中では、県民向け、技術者向け研修や情報提供に加えて、産官学の関係団体による「ネットワーク会議」を開催していますが、それぞれの団体の構成員が、日々の業務に追われる中であっても、地球環境の回復に向けて同じ方向を向いて連携して取り組むことで、相乗効果が生まれ、それを市民県民の意識の向上につなげることも重要です。今後とも建築士会を中心に関係団体と連携してグリーン化を進めていかなければならないと考えます。



ネットワーク会議（大分市にて）

弘化4年(1847)信州(長野県)善光寺地震(2)

－災害から学ぶこと－

廣瀬資料館 園 田 大

牛にひかれて善光寺

弘化四年（一八四七年）信州（現、長野県）善光寺は御開帳の年で、全国から参拝者が参り賑わいました。このような中で信州善光寺地震は三月二四日に発生しました。廣瀬資料館には善光寺地震の史料が数点あります。

■多彩な史料

廣瀬家の善光寺地震の史料は手書きと印刷の二種類に分類されます。

印刷は以前紹介した二種類のかわら版で、これを写したものです。



かわら版の写し

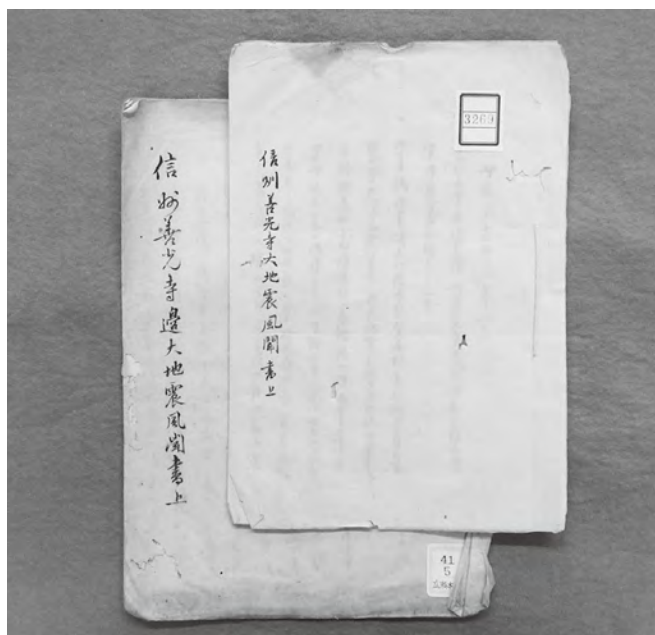
次に長野県地図は黒一色で配色されています。これらは地震の被害状況及び善光寺の所在地を知ってもらうために作成されたのでしょう。



長野県地図

次に手書きは地震の記録が記され、本に纏（マト）められています。これらはある共通点があります。それは折り目がないことです。

史料中には地震のひどさを訴える文言も随所にあります。二冊の風聞書（フウブンショ）は内容が全く同じです。子供たちが手習いに使ったものです。風聞書には、地震の被害状況が詳細に記されています。



二冊の風聞書

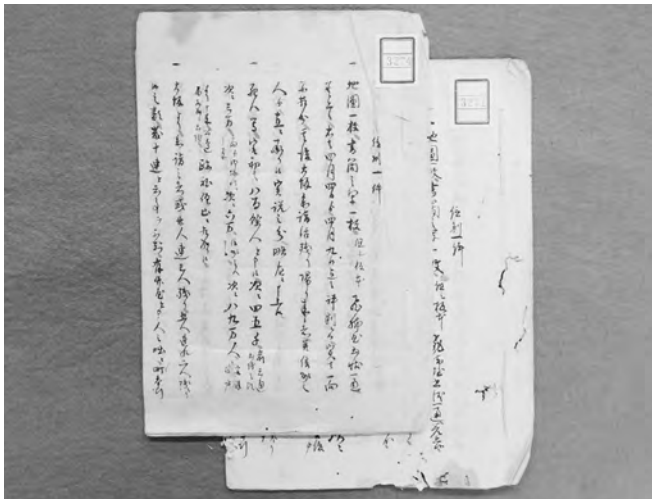
現在の私達はネットで情報収集をしていますが、江戸時代の人たちは時間をかけて書簡で情報を集め、識字力を高めるために書簡を写しては本を作成したのでしょう。このことで江戸の人たちの知識力が窺えます。

■廣瀬旭莊の役割

この善光寺地震の蔵書普及と書簡作成に努めたのが淡窓（タンソウ）・久兵衛（キュウベエ）の弟の旭莊（キョクソウ・一八〇七～一八六三）です。当時、三兄弟の滞在先は下記です。

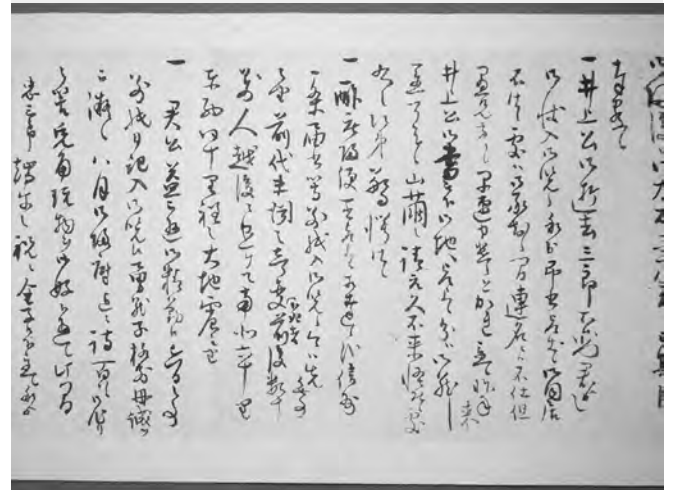
淡窓	日田市
久兵衛	大分市
旭莊	大阪市

旭莊は善光寺地震の情報を、淡窓と久兵衛に逐一報告しています。淡窓に送った四月二六日付の書簡では、内容が詳細にわかり驚愕（キョウガク）しています。



四月二六日付の書簡

一方、久兵衛にも弘化四年五月一四日付の書簡で報告しており、久兵衛は旭莊からの地震の被害状況を、府内（大分市）の殿様にいち早く知らせています。



弘化四年五月一四日付の書簡

江戸時代に、長野県の情報がいち早く九州の日田に伝わり、その史料が廣瀬家に現存しています。又、江戸時代の人々の知るエネルギーと対応の早さも驚きです。

■災害から学ぶもの

現在、私たちは地震・水害と多様な災害に直面しています。令和六年四月一七日には豊後水道を震源とする地震が発生し、愛媛県・高知県・大分県が被

害をこうむり、私も揺れて起きました。その一方で、災害の歴史は私たちに何かを伝えようとしています。

令和6年度(2024年度)新春 支部対抗ボウリング大会

中津支部 是 本 昭 善

●日時：令和7年2月9日（日）13時30分～

●場所：タワーボウル植田店

支部対抗のボウリング大会は、過去にも2回、平成30年と31年に「公益社団法人 大分県建築士会 会員福利厚生事業」による、会員の健康と親睦・交流の企画として開催され、当時は私も参加しました。その後はコロナ感染症の拡大により、開催自体が出来ない状況が続いておりました。それから年月が進み、今年度の事業委員会の会議の中で今回の企画が決定しました。6年ぶりの開催との事で、参加人数が集まるか心配ではありましたが、当日は県内から多くの会員が集まり、総勢約50名で12レーンを使って盛況に実施されました✦



←会長より、開催の挨拶
事業委員長より↓説明



団体戦は2ゲームの平均スコアにより順位決定
個人戦は2ゲームのトータルスコアにより順位決定



寒さの厳しい中、多くの会員が県内から集まりました
男性の他、女性の参加者も多く、小学生もいて大盛況
中津支部からは、私を含めて6名が参加しました♪

チーム内のメンバーからは「ボウリングが10年振りで上手く投げれるか…」また「2ゲームする体力があるか…」と、自信が無く参加して心配する声も出ていました💧

私自身も前回の大会から6年振りになるので不安でした。



ボウリング投球時に指が抜けないアクシデントに大笑☺



なんと結果は中津支部アダルトチームが団体戦1位賞🏆

ゲームの賞品は、団体賞、個人賞、参加賞と盛り沢山で、準備開催していただきました事業委員会の皆さま方、ありがとうございました（私も同委員ですが、ただ参加しただけでスママセン…）次も盛り上がる開催を期待します。

最後に自分の写真が撮れてないため💧中津市の委託事業に参加する『まちなみ歴史探検（市内全小学6年生）』の様子にて記事終了します。



インフォメーション

臼杵支部

捨てるはずの竹でENJOYPLAY!! (竹炭を使っのワークショップ)

臼杵支部 足立 洋平

我々臼杵支部は、令和4年度より、地元のイベントの1つである、「うすき竹宵」に竹オブジェ班として参加しています。竹オブジェ班とは、割り当てられたスペースに各々がデザインを考え、加工して配置をし、原則ろうそくの明かりのみのライトアップで来場者に見て頂く、というものです。令和4年度は県青年部での参加でしたが、昨年で計3回の参加となっており、これからも継続していきたい事業であります。その中で、使用した竹は原則廃棄してしまうのですが、この竹を使って地域との交流を図れないものかと考え、竹を炭にして、竹炭を使ったワークショップを地域の子供達と一緒にやろうとなりました。

竹炭製作については、初めてということもあり、今回は士会メンバーのみで行いました。色々調べた結果、お菓子の缶に穴をあけて、小さく割った竹を縦に詰め込みひたすらBBQコンロで加熱するという方法を取りました。どうせ焼くならお肉も一緒に…と竹の焼けた臭いを我慢しつつ、ワイワイBBQも行いました。ワイワイしすぎて、若干焼けていない竹があったのはご愛嬌で…。

ここからは、本腰を入れてワークショップに向けての作戦会議です。青年部メンバーにて竹炭を使ってどう

いうワークショップと

するか、誰をターゲットにするか等々会議を重ね、色々案はでましたが、【竹炭風鈴】【竹炭粉末イラスト】【竹炭習字】でのワークショップとし、地元の小学校中学年をターゲットにすることにしました。

児童館にお願いをして、小学生3、4年生を集めてもらい、ワークショップの開始です！

私は子供向けのワークショップをすることが初めてでしたが、設置作業もいい感じに出来、進行についても、他のメンバーと上手く役割分担ができ、全体の流れとしては上出来なワークショップになりました。

児童館館長からの要望もあり、電動工具も子供達に使わせての作業となりましたので、一人に一人大人がついて細心の注意をはらって行いました。イラスト作

りでは、こちらが準備していたイラスト以外にも、自分たちでイラストを考えて作ったりと、子供達にも楽しんでもらえ、良い経験になりました。

今回のワークショップで、良かった点・反省する点色々ありましたが、うすき竹宵に参加する限り、継続事業として、竹を使ったワークショップも続けていき、地域に根差した活動を行っていければと思います。



よろず建築相談会・ 木工ワークショップ開催の報告

佐伯支部 富松 誠

令和6年6月30日に建築士の日記念事業「よろず建築相談会」が各支部で実施されました。

昨年同様、今年もトキハインダストリー佐伯店にご協力をお願いして会場を設けさせて頂きました。

昨年は相談者が2組で隙間時間が多かった事を踏まえて、今年は木工ワークショップを隣接して実施して買い物利用客の関心を集めました。内容は以前、商店街でやった「端材アクセサリー制作」です。

親子の参加者で子どもが制作している間に建築相談を受けてみたいかも？と考えて実施してみました。

木工ワークショップは今回も沢山の子どもたちが参加してくれてとても賑わいましたが、目論んでいた木工ワークショップからの建築相談者は残念ながら無く、市報を見て来てくれた1組だけで昨年よりも減ってしまうという結果になってしまいました。

内容は地震によって隙間ができたので不安があるとの事でした。

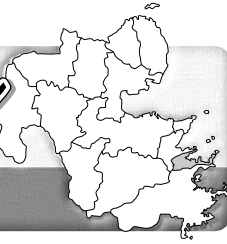
相談者には建物の特性を説明して、更に詳しく知りたい場合には耐震診断等の手続きを説明しました。

今年も課題が残る相談会になってしまいました。

建築士に相談ができる機会に相談者が1組だけなのはとても勿体ない気がします。どうすればもっと多くの方に活用していただけるのでしょうか？（誰かいい方法があれば教えてください）利用者の多い会場は人の目につくので相談しにくいのでしょうか？

次回はもっと多くの方に活用してもらえるように支部で話し合いたいと思います。





門司港街並みと 炭鉱王の重要文化財を訪ねて

津久見支部 濱野 一明

■令和6年11月16日～17日

■津久見支部 第三回研修旅

今回は参加者9名で北九州門司港の街並み散策と、重要文化財を訪ねて飯塚市への旅でした。

車で門司港へ向かい昼前到着、昼食は門司港発祥の焼きカレーを食し、門司港駅・鉄道記念館・保存洋風建築物と街並み・関門海峡ミュージアムを訪ねた。



門司港駅舎で三脚セット、カメラで記念写真＝昭和です。（レトロな街では違和感なし）周囲の観光客はスマホ撮影の令和時代。海外観光客記念写真はカメラマンとしてオモテナシ。鉄道記念館はレンガ造りの社屋で、屋内外に機関車、各車輛が展示、通学の汽車を思い年齢を感じた。屋内の木造車両は初対面（小さくてかわいく木材の加工に感心した）



街並みは、広々と大空間の街づくりですが、歩道の街路樹が大きくなり舗装を破壊している。手付かずの空き家建造物の対応に課題もあると感じた。



港エリアでは対岸の下関街並みと関門海峡大橋が一望。はね橋を渡り、レトロ建築物と近代建築物が共存しているエリアへ移動。そこには高層展望タワーが聳え建っていた。31階、高さ103m展望室へ行き門司海峡が一望、眼下には新門司港。日没に小倉の工場の町に沈む夕日と夜景スポットです。本日最後に関門海峡ミュージアムへ移動、大正時代の街並みが再現され、不思議な街に感じた。





散策歩数は約9,000で終了。宿泊先のホテルは紅色の若戸大橋が望め、新日本三大夜景の北九州の中に位置する。（今回は夜景展望なし）夕刻、幹事さんお勧めの食べ放題の焼き肉店で運転手さんの感謝会。（食事中の会話は個人情報満載で掲載なし）



翌日は飯塚市へ向け北九州市内を横断するように車を走らせ工場群の街並みを車窓から拝見。

出発から80分で目的地の旧伊藤伝衛門邸（国指定重要文化財建築物、国指定名勝庭園）へ到着。

門構えは武家の下屋敷風。



筑豊の炭鉱王・伊藤伝衛門の本邸として、明治後期から昭和初期にかけて増改築を重ねられていた。敷地面積約2,300坪、建物は木造2階建て延べ床約300坪の近代和風住宅です。庭園も素晴らしい風景でした。（今日も庭師が作業中です）建物は住居棟と庭園に面する客室棟に分かれた大邸宅。内部は数寄屋造りに感じた。座敷と中庭を拝見しながら長い廊下を進んで回り階段で2階へ上ると窓から庭園が一望（絶景）部屋は大工さんの遊び心か天井細工など、時代を感じる造作がされていた。



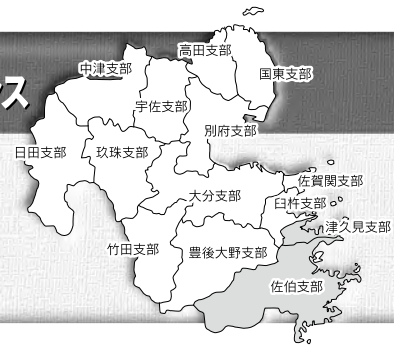
1階へ降り水回りを拝見、風呂には当時の水栓蛇口と最近の蛇口があり不思議に感じた。実は小説家の天台宗の尼僧：瀬戸内 寂聴さんが住まわれていたそうです。別棟に寂聴さんの資料館やお土産店もあります。玄関横に応接間があり暖炉と板壁が印象的で、高い天井で洋館風の内装。（入室禁止）客室棟の縁側付き本座敷へ進むとガラス障子の向こうに広がる庭園が絵のような風景。座敷の床の間天井は、竹細工のあじろ天井、見た事のない柄模様（家紋柄らしい）当時の建物ならではの隙間と大広間で少々寒いけど24時間換気だ。施設の方に何うと、老朽化で雨漏り等の修繕が重要文化財の保存課題ですと話してくれた。昼食はうどんで儉約。休憩後、最後の見学先の甘木歴史資料館へ向かった。農耕地区ならではの工具、機器などが展示されていて郷土資料館的な施設でした。なぜ、ここに立ち寄ったのか、柿の有名な所であり、高速道で通過するが立ち寄ったことが無い、そして帰宅経路で入館料無料と条件が整い伺った。団体でしたが施設の方の暖かい対応にお礼申します。研修が終えて、昭和の街並みが放置されている津久見商店街や街の整備が進む港エリアに、各自思いを秘めた様子でした。

PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフルエンス

個人が他人に及ぼす影響力

我が街の建築士紹介

(掲載については順不同です)



氏 名	御手洗 芳 夫	生 年	昭和52年
勤 務 先	株式会社佐伯富士甚		
趣 味	映画鑑賞		
将来の夢、モットーなど	好きな映画 ラストエンペラー 大学では中国語を専門に勉強していました。卒業後は食品メーカー、人材業界にて営業職として業務を担当。2010年に関西より大分へ帰り、家業のLPガス販売店に入社。ガスだけでなく建築の仕事にも関わるようになり、2020年に43歳で二級建築士を取得しました。同世代の業界で活躍する方々に比べるとキャリアは短いですが、他業界での経験を活かして建築士会の活動に貢献できればと考えています。		



御手洗 芳夫(佐伯支部)

氏 名	吉 川 祥 平	生 年	平成2年
勤 務 先	佐伯市役所		
趣 味	Youtube鑑賞、Youtube投稿		
将来の夢、モットーなど	建築士会佐伯支部入会したての吉川と申します。大学卒業後ハウスメーカーで現場管理の仕事をしておりましたが、2016年に佐伯市役所にジョブチェンジしました。恥ずかしながら建築士の資格をもっていないですが、建築は大好きです。ちなみに今は自邸のリノベーションで頭がいっぱいです笑 今後は、佐伯支部のみなさまに限らず、県内のみなさまと交流できることを楽しみにしつつ、精進していきたくと思っています。今後ともどうぞよろしく願いいたします。		



吉川 祥平(佐伯支部)

氏 名	岡 部 来 哲	生 年	昭和56年
勤 務 先	小代築炉工業株式会社		
趣 味	読書		
将来の夢、モットーなど	大学では建築を専攻しましたが、卒業後は建築の末端にかかわる仕事を15年ほどしました。それ以降は建築と直接関わることはありませんでしたし、都合により40代で資格をとることになりましたので、建築士としては素人です。 これから少しずつでも知識と経験を積んでいきたいと思っています。		



岡部 来哲(津久見支部)

氏 名	福 島 桃 子	生 年	平成6年
勤 務 先	株式会社 たかせao 一級建築士事務所		
趣 味	旅行・モノづくり		
将来の夢、モットーなど	株式会社 たかせaoの福島 桃子と申します。 大学卒業後はリフォームの施工監理をしていました。 現在は津久見市で設計業務をしております。 まだまだ経験も浅く、日々勉強ですが一日でも早く一人前の建築士になれるよう頑張つて参りますので宜しくお願い致します。		



福島 桃子(津久見支部)

MY WORK

- ★建物名称 S邸新築工事
- ★建築場所 中津市
- ★延床面積 154.37㎡
- ★構造 木造2階建て
- ★設計 (有)小野工務店二級建築士事務所
- ★施工者 (有)小野工務店

★設計趣旨

木のぬくもりを感じられる仕上がりにし、家族の存在がいつも感じ取れるよう不要な建具・間仕切り壁はなくし、トイレ・脱衣室のみの設置とした。



天井垂木現し、壁構造用合板、床杉15mm



- ★建物名称 豊後高田昭和の町新拠点施設
- ★建築場所 豊後高田市新町
- ★設計 株式会社パーシモンヒルズ・アーキテクツ二級建築士事務所
- ★工事監理 清末一級建築士事務所 清末幸生
- ★施工者 A・B棟 佐々木建設株式会社
C・D棟 西日本土木株式会社
- ★建物概要 A棟: 木造2階建 店舗併用住宅 137.56㎡
B棟: 木造2階建 店舗併用長屋 263.36㎡
C棟: 木造2階建 店舗併用長屋 267.03㎡
D棟: 鉄骨造平屋建 展示場・トイレ 205.44㎡

★設計趣旨

1棟内に納めてしまうのでは無く4棟に分散し、街並みとの調和しながらそれぞれに昭和の雰囲気のデザインを施し、町のにぎわいを醸し出す。



MY WORK

- ★建物名称 社会福祉法人常照会
慈光保育園園舎
- ★建築場所 宇佐市四日市
- ★建築主 社会福祉法人常照会 慈光保育園
- ★設計 (株)さとう不動産設計事務所
- ★施工者 (株)江河工務店
- ★構造・面積 木造2階建 900.73㎡
- ★用途等 保育所
- ★竣工 令和5年10月

★設計趣旨

本願寺西別院敷地内での建替えであり、限られた制限の中での設計でした。

建物は、鐘堂の景観を生かす、門前町周辺の街並みと調和をコンセプトに配置、色彩計画をしました。

1階に保育園施設、2階に学童を併設した施設があります。1階建物南側には0～2歳児の遊戯室を配置し、中央に管理部、厨房施設を、北側に3～5歳児の遊戯室とランチホールを配置した南北長手方向の形状となっております。2階の学童へは専用の玄関を設け、園児と交わらない動線計画としています。また、敷地には高低差もあり、建物内は園児が安全に生活できるようにとの要望でフラット形状にし、外部アプローチで段差処理を解消しました。

計画段階から幾度も協議を重ね、施設こだわりの建物が完成しました。



MY WORK

- ★建物名称 日田市高齢者生活福祉センター（長寿苑）・日田市つえっ子こども園
- ★建築場所 日田市中津江村栃野字岩や迫4363-11他
- ★延床面積 1,017.43㎡(高齢者) 338.01㎡(こども)
- ★構造・階数 木造平屋
- ★設計 野村一級建築設計事務所
- ★施工者 (株)平成建設・(株)渡辺工務店 建設工事共同企業体(高齢者) (株)川浪組(こども)
- ★発注・監理者 日田市
- ★設計趣旨

令和2年7月の豪雨災害（土砂崩壊）により被災、除却した「高齢者生活福祉センター」、「老人福祉センター」2施設の再建と併せ、中津江村、上津江町の2か所にあった「こども園」の統合に伴い、老・幼の異なる2施設を同時に整備したものである。

広大な市域を有する日田市において、高度成長期の人口増加により拡大、分散した公共施設が更新時期を迎える中、人口減少が進む周辺地域における公共施設の在り方を探る一つのモデルとなった。必要な機能を最小の形で集約し、共有可能なスペースを確保することで経済的合理性と共に、異世代の日常的な交流が図れ、「生きがい」や「育成」の面で刺

激しあえるという効果も期待できる。

東西に長く西へ傾斜した敷地に対し、道路からのアクセスの良い手前に共有駐車場と地区集会所を併設する高齢者施設、奥へ高齢者施設に直交する形でこども園を配した。南に開けたこども園の園庭北側には、花や野菜の栽培が楽しめる菜園を設けた。高齢者は日中、園庭で走り回る園児を横目に畑作業ができ、園児もまた高齢者と一緒に植物を育てる中で会話が生まれるなど、社会性や地域ならではの関係性を築ける。

L型配置の中央スペースは地域の祭りやイベントの場としても有効に利用されている。



【南より俯瞰 左こども園、右高齢者施設】



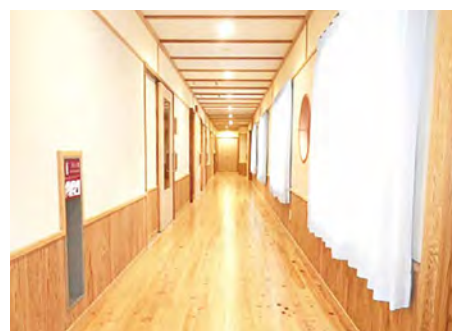
【北入口より高齢者、奥にこども園】



【高齢者トレーニングルーム】



【こども園遊戯室】



【こども園廊下】

BOOK My Best Book

マイベストブック

『永遠のゼロ』

著者：百田尚樹
大分支部：粉 航平

『永遠のゼロ』は、第二次世界大戦中の特攻隊員の祖父の過去を探る青年の物語です。若い弁護士の佐伯健太郎とその妹・景子は、祖父の宮部久蔵が特攻隊で戦死した事実を知り、その生涯について調べ始めます。物語は、戦友や関係者から聞き取った話を通じて、宮部の人間性や戦争に対する複雑な感情が明かされていく構成となっています。

宮部久蔵は「生きて帰る」という強い意志を持ちながらも、最終的には特攻隊として出撃する運命に導かれる人物です。その過程で、彼の仲間たちや家族、そして戦争の悲劇が浮かび上がり、読む者の心に深い感動を与えます。宮部の優れた飛行技術と冷静な判断力は、戦友たちの命を幾度も救うこととなり、彼の名声は広がっていきます。しかし、彼がなぜ特攻に参加したのか、その真相は物語が進むにつれて明らかになっていきます。

物語は、宮部の妻・松乃の存在が物語の大きな要素となっています。彼女の視点から描かれる夫の姿は、戦争の中での人間らしさと愛の重要性を強調し、読者に深い印象を与えます。また、宮部の戦友たちの証言から浮かび上がる彼の姿は、単なる英雄像ではなく、複雑で多面的な人物像を描き出しています。

『永遠のゼロ』は、戦争の悲惨さとそこに生きた人々の強さ、そして愛と犠牲について深く掘り下げた作品です。百田尚樹の巧みな筆致は、読者を物語の世界に引き込み、歴史の一部を生きるような臨場感を与えます。また、この作品は現代社会においても、戦争と平和について考える重要なきっかけとなるでしょう。感動と共感を引き起こす『永遠のゼロ』は、多くの読者にとって心に残る一冊となると間違いありません。



『みちくさ3』

著者：菊池亜希子
大分支部：佐保 望

中高生の頃、6つ年上の姉が買っていたファッション雑誌を勝手に拝借して読んでいて、その雑誌に連載されていた街歩きエッセイが好きでよく読んでいました。その連載が単行本化されたものが、今回紹介する「みちくさ」です。

3シリーズあり、全部で42箇所の街が紹介されています。著者である菊池亜希子さんが興味のある街を自身でセレクトしていて、目的地にたどり着くまでの間につまみ食いするようにいろいろな場所に立ち寄っているところがぴったりということで「みちくさ」というタイトルになったそうです。

この本では、紹介する街の地図が菊池さん直筆のイラストで描かれていて、眺めるだけでも楽しい本です。マップの密度が高く、読むたびに新しい発見がありそうで何度も読み返してしまいます。

イラストマップと一緒に、実際に街を歩いて感じたことや訪れた場所で出会った人についても写真付きで紹介されているのですが、文章の表現が独特で面白く、さくさく読めます。

この本の中で私が気に入っている街は、東京都世田谷区にある三宿です。駅からは少し離れている若干不便そうな、これといった特徴はないような街ですが、朝早起きして犬の散歩がてら公園に行くと、おじいちゃんおばあちゃんがラジオ体操していて面白いとか、その帰りに買って帰るパンがおいしいとか本当に何気ないことが紹介されています。

自分が住んでいる街にも何か魅力があるんじゃないか、ちょっと出掛けてみようかなと思えるところが、この本のおすすめポイントです。

国内だけではなく、海外の街についても紹介されています。気軽に読めるので、一度手に取ってみてください。



My Best Book

BOOK

マイベストブック

『ゴールデンスランバー』

著者：伊坂 幸太郎

別府支部：中原 健

本書は、主人公である大学生の青柳翔平が、ある日突然「首相暗殺犯」として追われる身になるところから始まります。青柳は、かつて親しくしていた人物が関与した陰謀に巻き込まれながらも、無実を証明しようと政府や警察から逃げながら、その背後に隠された真実に迫っていきます。事件の真相を追いつつも、翔平の成長や仲間たちとの絆を描き、サスペンスと人間ドラマが見事に融合しています。物語は、予測不可能な展開と巧妙な伏線が張り巡らされており引き込んでいきます。特に、登場人物たちの個性や、ユーモアを交えた会話が、物語に奥行きと温かみを与えています。

また、伊坂幸太郎ならではの緻密な構成と、現代社会に対する鋭い視点が光ります。物語の中で描かれる政治的な陰謀や人間関係、さらには不条理な状況に直面する主人公の葛藤が深い印象を残します。

ただのサスペンス小説ではなく、人間の弱さや強さ、友情、信念といったテーマを通して、人生の意味を問いつける作品でもあります。特に、翔平がその過程でどのように成長していくかが感動的で、最後まで目が離せません。この小説は、サスペンスと人間ドラマを融合させた傑作であり、伊坂幸太郎の独自の世界観が光る作品です。



『GREAT LIFE 一度しかない人生を最高にする方法』

著者：スコット・アラン

別府支部：重田 凌汰

本書は、カナダ出身で岡山県に25年間在住されているスコット・アラン氏が著作された本になります。スコット・アラン氏は、人の能力開発に意欲を燃やし、人生を好転させる方法を紹介するライフコーチをされている方です。

私が、この著書を紹介する理由としては、この本の読みやすさが理由になります。

本著書は、100項目で構成されており、1項目あたり2～3分程度で読むことができます。ですので、目次を読んで気になった項目だけを手軽に読むということができます。

私が、自己啓発を読む目的は、劇的に人生や性格を変えたいということが目的ではなく、自分にはない考え方や知見に触れることで、仕事・プライベートに限らずモチベーションの維持につなげることを目的に自己啓発本を月に1～2冊読んでいます。そんな私に1項目あたり2～3分程度で心をプラスしてくれる本著書を、私は重宝しています。

Amazon Primeに加入している方はKindleというアプリから無料で読めますので、ぜひ、ご覧になってはいかがでしょうか。



近況トピックス

津久見支部 高瀬 幸伸

故郷でのまちづくり活動として、『NPO法人まちづくりツクミツクリタイ』の理事長を拝命してから6年になります。この組織は、平成27年～29年の3年間、津久見観光周遊性創出事業で市中心部の周遊促進を目的としたまちづくりワークショップが行われ、その過程で、大分県の中郡振興局と津久見市のまちづくり課を中心に、たくさんの方々が「遅れている津久見のまちづくりを一步進ませたい」と考え行動して生まれました。これまでの活動を、簡単に振り返ります。

まず、津久見で唯一、人の集まる場所「つくみん公園」から始めました。ここに津久見で今まで見たことのない風景を作ること、これから何か始まるんだという起爆剤にするためでもありました。



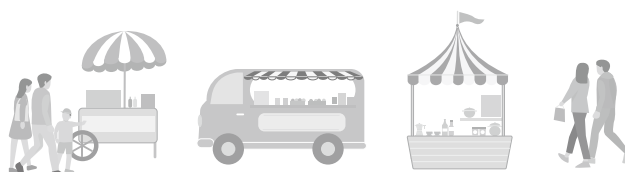
公園の中に行政の予算で造ったものなので、財産や使用権がNPOのものになるとは限らないのと、寂しくはなったけども、まちなかに自分たちで自由に使える拠点があるべきだということになり、商店街の中の銀行跡をリノベーションして「カ



フェ2分の1」というスペースを作りました。ここを拠点に「ビールでも飲みながらまちのことを話そう」というトークイベント『ツナカン』や、公園で、



市外の人と市民を繋ぐ『しっくりマルシェ』や真夏の公園の遊具をウォータースライダーにする『つくみんウォーターパーク』などのイベントを行っています。津久見にも遊びに来てください。



近況トピックス

シーズン到来!!

大分支部 佐藤 誠

「この記事が多くの人目に触れるころには、シーズン到来とばかりに時間を見つけては、短い桜の季節をツーリングで楽しんでいるのだろうなあ」などと妄想しながら、執筆している2月半ば、大分市の最高気温は10℃に満たない日があと数日は続きそう。今年の冬は寒い。春が待ち遠しい。

オートバイ^{注1}乗り^{注2}である。オートバイというのは、乗れて2名、雨が降ればずぶ濡れ、夏は暑く、当然冬は寒く、ただ乗るだけでも技術が必要で、基本を怠るとカーブさえ曲がれないとても不便な乗り物である。それでも、そんな不便さを全て補う魅力がある。風景や自然、季節をリアルに感じさせてくれ、いろいろなところへ連れて行ってくれる。天野恩紗^{注3}の言葉を拝借するならば「バイクの魅力は風と自由」「バイクに乗る意味、それはロマン」。

オートバイ乗り歴は、8年と比較的浅い。散歩中、展示されていた中古車に一目惚れし、普通二輪免許さえ持っていないのに衝動買いしてしまったのがことの始まり。体幹が衰えつつある40歳を過ぎてからの大型二輪免許取得の道のりは短いものではなかった。

日本国内には、カワサキ、スズキ、ホンダ、ヤマハというオートバイ4大メーカーがあり、一部では世界の4大メーカーと評される。

衝動買いしたオートバイはカワサキW650（最終型）。676cc 2気筒エンジンのクラシカルなデザインの大型車である。元来、筆者は車ならVWビートル^{注4}（実際2世代を乗り継いだ）、ワークブーツならレッドウイング^{注5}、スニーカーならスタンスミス^{注6}、トレントコートならバーバリー^{注7}、ボーダーシャツならセントジェームス^{注8}、Gジャンならリーバース1stだよな？…（もういいだろ）と王道というか定番というかシンプルでいかにも！なものを好む。カワサキW650はまさに、王道のクラシカルでレトロな「いかにも！」オートバイなのである。
※ネオクラシックというカテゴリーではあるが

オートバイ乗りになりライフスタイルが一変した。

そんな筆者のオートバイライフをご紹介します。



カワサキW650（左奥に九重連山、右奥には由布岳）

～名所巡り～

大分県内の名所めぐりは、大分県の魅力再発見にも！



豊後大野市井上地区の豊肥本線沿い桜並木



牧ノ戸峠の紅葉

～聖地巡礼～

宗教的なそれではなく、サブカルチャー的なそれ。大分県内であれば、玖珠町の豊後森機関車庫（『ラブライブ！サンシャイン!!』、『すずめの戸締り』）や日田市の大山ダム（『進撃の巨人』）、別府市の八幡竈門神社（『鬼滅の刃』）。オートバイ（W650も登場）が活躍する実写版『ワイルドセブン』の主要撮影地であったドーム周辺やオアシスタワーは筆者にとっては聖地。熊本県に点在する「麦わらの一味」の銅像巡りは次なる旅先の予定である。



シン・エヴァンゲリオンの聖地 宇部新川駅にて



南阿蘇ケニーロードにて

～建築巡り～

美しい建築と美しいオートバイは想像を超えるほど相性が良いのではと自賛している。公共建築だけでなく、最近では友人のオープンハウスでの1枚も楽しみ。筆者が設計した建築とも撮影はしているが、そちらはオミット。



臼杵市中央公民館にて

おわりに

飲み仲間（笑）でもある、昨年春季号寄稿者、大分支部Fさんから「バイク仲間が増えますように」との執筆依頼があった。どうも酔っぱらってオートバイについて熱く？語り、一緒にツーリングをしてくれる仲間が増えるといいなあなどと口にしていらしい。もちろん覚えていない（笑）。オートバイに乗り始めたころは、暑い、寒いに関係なく、一年中ツーリングに出かけていたが、最近は気候の良いシーズンしか乗らなくなってしまった。今回、こうして執筆していると、ツーリグンに出かけたい衝動が抑えられない。あの頃の気持ちを蘇らせてくれた渕さんに感謝しかない。ありがとう！

今週末は、ようやく開花しそうな四浦半島の河津桜かな。オートバイ多そうだな。

注1：自動二輪、英語圏ではモーターサイクル、自転車もバイクと呼ばれる、本記事ではオートバイと表現する。

注2：ライダー、バイカーなどと呼称されるが、本記事ではオートバイ乗りと表現する。

注3：おりもとみもな著『ばくおん!!』の主人公の一人。

注4：ドイツの自動車メーカー「フォルクスワーゲン」社の自動車。通称カブトムシ。

注5：米国の老舗ブーツブランド

注6：アディダスの世界一売れたスニーカー。元々はテニスシューズ。

注7：イギリスを代表するファッションブランド (Burberry Group plc)

注8：フランスのファッションブランド (SAINT JAMES)



マーボアの旅先日記 その22



顧問 井上正文

「兵庫県の国宝巡り」

兵庫県は日本一多様性に富んだ地域です。

地理的には瀬戸内から日本海まで繋がっていて、気候風土も多様ですし、歴史的にみても「旧国名」でいうと「摂津」「淡路」「但馬」「播磨」の四ヶ国に跨っています。

江戸時代末期の藩体制でという「摂津（尼崎藩、三田藩）」、「但馬（出石藩、豊岡藩）」、「播磨（林田藩、三日月藩、山崎藩、明石藩、三草藩、姫路藩、安志藩、赤穂藩、竜野藩、小野藩）」。なんと総計14藩に及びます。

たぶん、日本国中随一の多さでしょう。

さて、県内の国宝建造物は6ヶ所に点在しています。①姫路城、②鶴林寺、③太山寺、④一乗寺、⑤浄土寺、⑥朝光寺の6ヶ所です。これらを順を追って紹介していきましょう。



写真1 姫路城

■姫路城（写真1参照） 姫路市にあり、日本を代表する国宝のひとつで、ご覧になった方も多いと思います。

近年、大改修が施され、真っ白になった感じがですね。

1933年赤松氏により開かれ、江戸時代になって1617年に本田忠政によって今の姿に改修されました。

天守閣をもつオリジナル城郭が全国に12城ありますが、その中で最大規模を誇ります。

ここのお隣にある立派な庭園をもつ「好古園」（写真2参照）も忘れずに訪れてみて下さい。



写真2 好古園

■鶴林寺（写真3参照） 加古川市にあり、聖徳太子に縁の深いお寺で「播磨の法隆寺」とも呼ばれています。718年に創建されたようです。本堂が国宝指定です。

加古川には、お勧めのB級グルメ「カツめし」（写真4参照）が有名。加古川を訪問の折には是非、お試し下さい。



写真3 鶴林寺



写真4 カツめし

■太山寺（写真5参照） 神戸市西区にあり、奈良時代の創建で鎌倉時代に再建されました。本堂が国宝指定です。

写真でご覧頂ける通り、かなりの規模の本堂です。お堂の大きさのため、建物の全景を1枚の写真に収めることが難しいことは、写真をご覧になるとご理解頂けるかと。また、神戸市内唯一の国宝建造物という意味で、特筆すべき建物かもしれません。



写真5 太山寺



写真6 一乗寺

■一乗寺（写真6参照） 加西市にあり、斜面に建つ三重塔が国宝指定です。平安末期の1171年の建立とされています。

■浄土寺（写真7参照） 小野市にあります。

小野市は「そろばん」や「刃物」の町としても知られています。1180年の東大寺消失後、東大寺大仏殿の再建に取り組んだ僧侶「重源」の働きで鎌倉時代の1197年に創建されました。この時の大仏殿建立に掛ける重源の意気込みは大変なもので、建設費用の調達や材料集めに、全国を行脚したと伝えられています。

この浄土寺浄土堂を見学される時には、東大寺大仏殿に掛けた「重源」の情熱にも思いを致して頂ければ幸いです。



写真7 浄土寺

■朝光寺（写真8参照） 加東市にあり、本堂が国宝指定です。朝光口バス停から徒歩50分と知り、訪問が遅れ、兵庫県内の国宝建造物訪問では最後の6ヶ所目の訪問でした。神戸を訪れた折、古くからの友人に自家用車を出してもらい、訪問したほどです。車を自由に使える環境にない私にとっては、全国国宝巡りを続けていると、このような困難さにも、たびたび遭遇しますが、これも「国宝巡り」の楽しみの一部となっています。

この本堂は651年の創建で1413年に再建されています。桁行、梁間ともに7間の比較的大きな規模のお堂です。

困難なアクセスを乗り越えて辿り着いたスポットだけに、深く印象に残っているお堂です。



写真8 朝光寺

事務局だより

■委員会活動報告及び予定

歴史的建造物委員会

＜第1回＞

令和6年9月10日（火）コンパルホール

議題

1. 「おおいたの職人調査リスト」について
2. ヘリテージマネージャー養成研修について
3. 気候風土適応住宅大分県版の基準策定状況
4. その他の動き・お知らせ

事業委員会

＜第1回＞

令和6年10月16日（水）建築士会会議室

議題

1. 委員会規則の説明、活動内容について
2. 過去2年間程度の事業委員会の活動内容の確認
3. R6年度親睦活動について
4. その他今後行いたい活動について

＜第2回＞

令和6年12月4日（水）WEB会議

議題

1. ボーリング大会について

＜第3回＞

令和7年1月22日（水）WEB会議

議題

1. ボーリング大会について

＜ボーリング大会＞

令和7年2月9日（日）タワーボウル植田店

コロナ禍で長らく中断していました「支部対抗ボーリング大会」が開催されました。

子供を含む13チーム、52名の参加で、13時30分に集合し、幸会長の挨拶、佐藤博昭事業委員長（中津支部）の大会説明の後、ゲームがスタートしました。2ゲームの熱戦の結果は、団体戦はチームの平均スコアで競い、120.75点の中津支部（シニア）が優勝に輝き、準優勝は大分混成、3位に臼杵支部となりました。

個人戦は2ゲームのトータルスコアで競い、337

点（アベレージ168点）の佐々木浩さん（佐賀関支部）が優勝に輝き、準優勝は富松誠さん（佐伯支部）、3位に木村純孝さん（臼杵支部）となりました。

良い汗をかいて15時頃帰路に着きました。皆さんお疲れ様でした!!

＜第4回＞

令和7年2月10日（月）WEB会議

議題

1. ボーリング大会の報告
2. 次年度事業について

情報広報委員会

＜第2回＞

令和6年11月15日（金）コンパルホール

議題

1. 「建築士おおいた」来年度の編集計画について
2. ホームページについて
3. IT化の進展に即応できる建築士会のあり方

＜第3回＞

令和7年2月7日（金）コンパルホール

議題

1. 建築士会ホームページの見直しについて
2. BIM講習会の開催について

＜編集部会③＞

令和7年1月18日（土）建築士会会議室

・令和7年度「建築士おおいた春季号2025 No.134」の編集部会開催

＜編集部会④＞

令和7年3月8日（土）建築士会会議室

・令和7年度「建築士おおいた春季号2025 No.134」の編集部会開催

青年女性委員会

＜第1回＞

令和7年1月17日（金）ホルトホール

議題

1. 「第4回大分県建築女子会in別府」について

2. 地域実践活動発表について
3. その他

昇降機等定期検査報告推進委員会

＜昇降機等定期検査者向け研修会＞

令和7年1月29日（水）ホルトホール

研修議題

1. 大分県における昇降機等検査報告書記入について
2. 最近の取組事例について

CPD・専攻・試験・登録委員会

＜第1回＞

令和7年2月27日（木）建築士会会議室

議題

1. CPD・専攻建築士申請状況について
2. 建築士試験結果報告について
3. 建築士登録業務について

■事務局からのお知らせ

（案内：令和7年度の講習会等）

案内1

「建築士定期講習」について

令和7年度の講習日程等の詳細は、改めてご案内いたします。（大分市で開催予定です）建築士事務所所属の皆様は、定期講習を受講期限内に受講してください。

建築士会開催会場での受講は、建築士会の収入につながりますので、是非建築士会で受講してください。

案内2

「監理技術者講習」の開催について

（監理技術者以外の方も受講可能）

大分県建築士会では「毎月第2水曜日」に建築工事に特化した内容で「監理技術者講習」を開催しています。特に、一級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等の「建築工事の分野で活躍されている監理技術者」にとりましては、実務に役立つ充実した内容のテキストを使用して講義を行います。CPD6単位

が付与されます。

建築士会開催会場での受講は、建築士会の収入につながりますので、是非建築士会で受講してください。

【講習会日程】

○「毎月第2水曜日」に開催します。

※5月、12月、3月は除きます。

○時 間：8：50～16：40〔受付8：30開始〕

※8：45～8：50の5分間に講習の運営説明があります。

○会 場：（公社）大分県建築士会会議室

○形 式：DVD講習

○定 員：各回3名程度

○受講料：WEB申込 9,500円/

窓口・郵送申込 10,000円

※受講申し込みは、日本建築士会連合会HPよりお申込ください。

案内3

「既存住宅状況調査技術者講習(更新・新規)」の開催について

改正宅建法の重要事項説明の既存住宅状況調査をするには、この講習会を修了し、登録されることが必要です。

令和7年度の講習日程等の詳細は、改めてご案内いたします。

建築士会開催会場での受講は、建築士会の収入につながりますので、是非建築士会で受講してください。

※申込方法等詳細は、（公財）日本建築士会連合会のHPをご覧ください。WEBからでも申し込みができますので、そちらもご利用ください。

【オンライン学習(新規講習・更新講習)のご案内】

・インターネット環境の整ったご自宅のパソコンや職場のパソコンにて受講可能です。修了考査の解答までオンラインで完結します。

詳しくは、連合会のホームページをご覧ください。

（報告：令和6年10月以降）

報告1

「第1回支部長・支部事務局員・委員長合同会議」について

令和6年9月26日（木）に、ソレイユ3階「牡丹の間」において本年度第1回支部長・支部事務局員・

委員長合同会議が開催されました。

次の議案について審議されいずれも承認されました。

1. 本年度公益目的事業（各支部・委員会）の説明
2. 支部からの質疑協議事業等について
3. 委員会規則の改正と各委員会の委員構成について
4. 各委員会の事業計画と今後の運営方針について
5. （公社）大分県建築士会の財務状況改善と今後の展望
6. 会員名簿の作成について
7. 大分県版気候風土適応住宅基準の策定について
8. よろず建築相談会の実施報告
9. 台風10号被害対応について
10. 報告事項・今後の主な行事等

報告2

「第3回理事会」について

令和6年12月19日（木）に、コンパルホールにおいて第3回理事会が開催され次の議案について審議されいずれも承認されました。

1. 令和6年度事業執行状況（10月末）
2. 令和6年度収支予算執行状況について（10月末）
3. 令和6年度収支決算10月末財務三基準の確認
4. 代表理事及び業務執行理事の活動報告について
5. （公社）大分県建築士会二級建築士等登録事務規程の改訂
6. 令和7年度事業計画及び収支予算書について（お知らせ）
7. 令和7年度通常総会日程について
8. その他について（協議・報告）

報告3

「おおいた建築セミナーinくすここ」について

令和6年11月9日（土）に「第9回おおいた建築セミナーinくすここ」が玖珠町のホテルメサビュートで開催されました。43名の参加がありました。幸会長の挨拶で始まり、白地泰憲玖珠支部長の歓迎

の挨拶の後、「絶滅危惧住居の守り人が語る日本人の生き方について」と題して、講師の農家民宿「おわて」主人の時松和弘氏への質問形式で講演会が開催されました。経年約200年の古民家でのくらしを通して、直火での煮炊きや、プライバシーの無い襖・障子での作法等々を語っていただきました。

また、分科会は、テーマ「絶マチ！Re：バイバル」にちなんで「絶コース」の、

A：絶峰このえコース、

B：絶賛きじぐるまコース、

C：絶好機関車庫コース、

D：超絶ディープ文化財コース

に分かれて行われ、玖珠・九重の秋を堪能しました。さらに親睦会は、18時から鏡割りではじまりました。美味しい料理に各支部から差し入れの「酒・肴」も加わり、和やかに進み、アトラクションでは玖珠米を使つての標準重量おにぎり作成競技です。各支部の代表が苦戦しながら作成しましたが、近似値で作った佐伯支部の井上一則さん（佐伯支部）に一等商品の玖珠米10キログラムが送られました。楽しく親交を深め、次期開催地の大分支部の発声で再会を期し乾杯して21時頃に終了しました。

玖珠支部の皆さん大変お世話になりました。ありがとうございました。

報告4

「建築甲子園」の審査結果について

「建築甲子園」は、建築教育課程のある工業高校、高等学校、工業高専（3年生まで）を対象とした（公社）日本建築士会連合会主催の全国設計競技です。今年度の課題は「地域のくらしーまちに住む・地域に開く戸建てのすまい」です。

令和6年10月19日（土）に大分県立総合文化センターiichikoで大分県大会選考会が開催され、応募のあった2校、3作品の中から、大分工業高校の3年生有永日向さんの「退職した先生が開く工業孝行～未来のスペシャリストが育つ場所～」が最優秀賞に選ばれ、全国大会へ進みました。

応募のあった都道府県選出の40作品の中から、審査が行われ、ベスト12作品が選考され、さらにプレゼン動画による最終審査会が、12月11日（水）に行われ、見事「教育・事業本委員長賞」を受賞しました。（実質全国4位相当）

2月10日（月）午後に幸会長、松崎局長が大分工業高校を訪問し、校長室において監督（担当教員）が同席の下に伝達式が行われ、表彰状と賞金、副賞が手渡されました。おめでとうございます!!

報告5

「建築物グリーン化促進事業」について

大分県からの委託を受け、環境に配慮した建築物の普及を図るため「建築物グリーン化促進事業推進小委員会」で検討を重ねてきました。

令和6年度に、以下の外部に向けた会議・研修が実施されました。

- 第1回 関係団体ネットワーク会議
令和6年7月17日（水） 14：00～
コンパルホール 多目的ホール
- 第1回 県民向けフォーラム
令和6年8月4日（日） 13：30～
大分体験型こども科学館（O-Labo）
- 第1回 技術者向け研修
令和6年9月20日（金） 13：20～
大分市荷揚複合公共施設 多目的会議室
- 第2回 県民向けフォーラム
令和7年1月25日（土） 13：30～
中津市教育福祉センター（O-Labo）
- 第2回 技術者向け研修
令和7年2月6日（木） 13：40～
大分中央公民館 大会議室
- 第2回 関係団体ネットワーク会議
令和7年2月18日（火） 14：00～
ソレイユ 3階牡丹の間

※3年間の受託業務対応の為、「建築物グリーン化促進事業推進小委員会」を令和4年3月22日（火）から令和7年3月5日（水）まで合計35回開催しました。

委員の皆様3年間の長期に亘りお疲れ様でした。

報告6

「能登半島地震災害義援金」の募金箱の設置について

昨年明け早々に発生した能登半島地震に対して、大分県建築士会も「能登半島地震災害義援金」の募金箱を事務局に設置し支援しています。ご協力いただいた救援金は、大分市（福祉保健課）を通じて日本

赤十字社へ送られ、被災地県に配分されます。

令和6年1月設置より令和7年1月までの累計で44,035円の救援金が集まりました。ご協力ありがとうございました。

引続きお心尽くしのご協力をお願いします。

会務行事案内（令和7年度予定）

- 5月21日(水) 第1回理事会
- 6月13日(金) 総会・永年会員表彰式・懇親会
- 6月21日(土) 九州ブロック「建築士の集い」福岡大会
- 6月29日(日) 建築士の日記念事業 県下一斉「よろず建築相談会」
- 9月19日(金) 全国大会「大阪大会」

情報広報委員

担当執行役員	〈豊後大野〉	高	野	幸	雄
委員長	〈宇佐〉	西	胤	和	弘
副委員長	〈日田〉	野	村	晋	二
委員	〈高田〉	後	藤	憲	二
	〈別府〉	山	本	健	太郎
	〈大分〉	今	永	和	浩
	〈大分〉	後	藤		悟
	〈大分〉	藤	原	次	郎
	〈大分〉	衛	藤	祐	介
	〈大分〉	甲	斐	啓	大
	〈大分〉	若	松	加	奈子
	〈大分〉	佐	保		望
	〈臼杵〉	佐	藤	賢	市
	〈佐伯〉	後	藤		堅
	〈玖珠〉	瀧	石	雅	一
	〈日田〉	久	恒	玄	季
	〈中津〉	日	高	雄	介

編集部員

部会長	〈中津〉	日	高	雄	介
部員	〈高田〉	後	藤	憲	二
	〈別府〉	小	山	秀	輝
	〈大分〉	江	崎	志	保
	〈大分〉	樋	田		瑛
	〈佐賀関〉	上	田		亮
	〈臼杵〉	松	井	健	児
	〈津久見〉	竹	田	光	徳
	〈佐伯〉	長	田	孝	治
	〈佐伯〉	福	井	大	輔
	〈豊後大野〉	工	藤	健	治
	〈竹田〉	田	島		薫
	〈竹田〉	江	上	禎	一
	〈玖珠〉	瀧	石	雅	一
	〈日田〉	熊	谷	高	則
	〈宇佐〉	森	崎	真	人

建築士おおいた

2025. 3 No. 134

(非売品)

令和7年3月27日 印刷

令和7年3月28日 発行

編集／発行所

公益社団法人

大分県建築士会

〒870-0045

大分市城崎町1-3-31 AIG大分ビル3F

TEL 097-532-6607

FAX 097-532-6635

印刷所／いづみ印刷株式会社

大分市高江西1丁目4323番25号 TEL (097) 535-8655

建 築 士

おおいた

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高 田	879-0617	豊後高田市高田 2145 番地 1 (株)中村建材店内	0978-22-2307
国 東	873-0503	国東市国東町安国寺 718	0978-72-2887
別 府	874-0919	別府市石垣東 1 丁目 9 番 31 号 (株)幸建設内	0977-23-6231
本部・大分	870-0045	大分市城崎町 1-3-31 AIG 大分ビル 3F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市佐賀関 4-3341-4 (株)セキ土建内	097-575-1120
臼 杵	875-0063	臼杵市大字望月 1029-11 藤澤建築設計内	0972-63-7589
津久見	879-2682	津久見市大字網代 5798-2	090-9076-7189
佐 伯	876-0833	佐伯市池船町 19-14	0972-22-5008
豊後大野	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 1922-1 2F 高野建設一級建築士事務所内	0974-22-6606
竹 田	878-0026	竹田市大字飛田川 1618-6	0974-62-3711
玖 珠	879-4632	玖珠郡九重町松木 4415-2 藤原工務店内	0973-76-3999
日 田	877-0026	日田市田島本町 4-1 野村一級建築設計事務所内	0973-24-6022
中 津	871-0024	中津市中央町 1-5-24 中津建築会館内	0979-30-9110
宇 佐	879-0444	宇佐市大字石田 13 番地の 11 (株)さとう不動産設計事務所内	0978-25-6766
本 部	http://www.oita-shikai.or.jp/		

会 員 増 強 に ご 協 力 を !

～会員二人で、一人の入会勧誘を～



公益社団法人 大分県建築士会

2025 NO 134